

# 緑幸会演能会

菜摘女に憑依した静の霊は、

悲運の義経を追慕しつつ舞う

能

## 二人静

シテ 井上和幸  
ツレ 井上貴美子



シテ角当行雄 ツレ井上和幸 (写真提供：金の星写真場)

舞囃子

菊慈童

盤沙

角当行雄

狂言

寝音曲

茂山良暢  
山口耕道

仕舞 熊坂

河本 望

平成26年 6月21日(土)

15時開演(14時よりA席指定の引き換え)  
第一部の緑幸会社中会終了次第入場

京都観世会館 京都市左京区岡崎円勝寺町44  
電話 075-771-6114

入場料	当日券	前売券
S席(正面特別指定席)	7,000円	6,000円
A席(当日指定席・二階自由席)	5,000円	4,000円
学生席(当日のみ)	2,500円	

# 緑幸会 演能会 於 京都観世会館

番組

仕舞 熊坂 河本 望

河村和晃  
赤瀬雅則  
山中逐晶

舞囃子 菊慈童

盤沙

角当行雄

石井保彦 前川光範  
吉阪一郎 森田保美

狂言 寝音曲

茂山良暢

山口耕道

後見 新島健人

（休憩 十分）

井上貴美子

井上和幸

能 二人静

廣谷和夫

石井保彦 吉阪一郎

森田保美

間 茂山良暢

（後見）

山中逐晶  
赤瀬雅則

（地謡）

河村和晃  
河村和貴  
川口晃平  
田茂井廣道

味方 園  
松山隆雄  
角当行雄  
角当直隆



**井上和幸**  
いのうえ かずゆき  
プロフィール

能楽協会会員。緑幸会主宰。京都市在住。昭和四十五年角当行雄師に入門。55世梅若六郎師、56世梅若六郎師（現玄祥師）に師事。昭和60年初シテ「小鍛冶」。披キ平成4年「石橋」、5年「狸々乱」、10年「俊寛」、12年「千歳」、14年「道成寺」「藤戸」、15年「弱法師」、17年「花筐」、18年「鉢木」「絃上」、19年「砦」、21年「山姥」、22年「石橋 大獅子」、23年「望月」、24年「隅田川」、25年「松風」他

## あらすじ

### 二人静

吉野の勝手明神では毎年正月七日に菜摘川の若葉を摘んで神前に供える。今日も菜摘の女が出かけた。松の葉にはまだ雪が残っている。そうした小途で女（ツレ）が菜を摘んでいると、突然誰かに呼びとめられた。それは不思議な女（シテ）で、「明神へ帰って神職に伝えてくれ、罪深い自分のために一日経（頓写）を書いて回向してほしいのだ」といい、「もし人々が不審に思うようならばその時自分がお前に憑いて名乗るから」といったかと思うとその姿は消え失せる（中入）。

驚いた菜摘女はすぐ戻って神職（ワキ）に告げた。そして「まるで信じられないことですが」といいかけると、その様子は一変して憑きものがして、「あれほど依頼したのに何故信じないかと、自分自身を叱る、その声はまるで別人のような威厳がある。狂気した菜摘に神職が問うと、憑きものは「この地で義経に捨てられた者（静御前）」であった。しかもこの社の宝蔵に、往年の静の舞衣装があるというので開いてみると、その通りであった。女はそれを身につけ（物着）、思い出の和歌を謡いながら美しい舞を舞う。

するといつかその後方にも、全く同装の女（後シテ）がもう一人いて、全く同じように舞っている（相舞の序ノ舞）。それは殆ど一人の舞が、二人に見えているかのようである。

- 前売入場券発売所
  - 京都 京都観世会館 TEL 075-771-6114
  - 京都総合研究所 TEL 075-931-4280
  - 京都梅若会／井上和幸 TEL 075-711-2600 FAX 075-701-0253
  - 大槻能楽堂 TEL 06-6761-8055
  - いすず産業（株）TEL 075-343-2500（井上貴美子）
- 指定席 A席指定席は当日開場しましてから先着順にご希望の席をご指定下さい。第一部の緑幸会社中会が終了次第二ご入場いただけます。
- お問い合わせ・連絡先
  - 【京都梅若会】
  - 京都市北区上賀茂中ノ坂町 25-8
  - 井上和幸方 TEL 075-711-2600 FAX 075-701-0253
  - 【梅若能楽学院会館】
  - 東京都中野区東中野 2-6-14 TEL 03-3363-7748

